



束芋トークイベント

「秋の夜長の束芋がたりー(真夜中の海) からヴェネチアビエンナーレまでー」

2011年11月5日[土] 午後5時 6時30分

このたびハラ ミュージアム アークにおいて、イタリアで開催されているヴェネチアビエンナーレの日本館で、我が国の代表として個展を開催中の作家・束芋氏をお招きし、トークイベントを開催する運びとなりました。



現在ハラ ミュージアム アーク「ボディ アンド ソウル 原美術館コレクション展」に「真夜中の海」展示中。

現在、ハラ ミュージアム アークで開催中の「ボディ アンド ソウル 原美術館コレクション展」では、束芋作品(真夜中の海)をご覧いただけます。束芋作品は、大掛かりな映像インスタレーションを特徴としており、作品を觀賞後に作家の言葉を直接聞くことができるこのたびの企画は、稀有なチャンスといえるでしょう。

今回のトークイベントにおいては、2006年に原美術館で開催された束芋の個展、「ヨロヨロン 束芋」展の担当学芸員、青野和子が聞き手となり、「真夜中の海」からヴェネチアビエンナーレまでの軌跡を中心に、映像資料を使った作品紹介も交えながら、束芋氏ご自身の言葉でじっくりと語っていただきます。秋の夜長、特別な一夜をどうぞご堪能ください。

【開催要項】

イベント名: 秋の夜長の束芋がたりー (真夜中の海) からヴェネチアビエンナーレまでー

日時: 2011年11月5日[土]午後5時 6時30分

(当日は、束芋作品(真夜中の海)を含む開催中の展覧会「ボディ アンド ソウル 原美術館コレクション展」、「時季(とき)の造形」のご観覧は、4時45分で終了させていただきます。)

会場: ハラ ミュージアム アーク カフェ ダール 〒377-0027 群馬県渋川市金井 2855-1

聴講料: 1500円 (入館料、ワンドリンクを含む)

定員: 60名 (要・事前予約・先着順受付)

語り手: 束芋

聞き手: 青野和子(原美術館主任学芸員)

ご予約、お問い合わせは、ハラ ミュージアム アークまで Tel: 0279-24-6585 E-mail: arc@haramuseum.or.jp

ウェブサイト: <http://www.haramuseum.or.jp> 携帯サイト: <http://mobile.haramuseum.or.jp>

ブログ: <http://www.art-it.asia/u/HaraMuseum> ツイッター: <http://twitter.com/HaraMuseumARC>

交通案内: JR上越線「渋川駅」より「伊香保温泉行」バスにて15分、「グリーン牧場前」下車。お車の場合 関越自動車道「渋川・伊香保I.C.」より8km、15分。

【束芋 Tabaimo】

1975年兵庫県生まれ。現在長野県在住。1999年京都造形芸術大学卒業。1999年、大学の卒業制作として制作した映像インスタレーション「つつぽんの台所」がキリン コンテンポラリー アワード最優秀作品賞受賞。以降、内外で目覚ましい活躍が続いている。主な個展に2003年ハラ ミュージアム アーク「束芋 夢違え」、2006年原美術館「ヨロヨロン 束芋」(東京)、カルティエ現代美術館(パリ)、2010年タイラー プリント インスティテュート(シンガポール)、バラソル ユニット(ロンドン)、横浜美術館、国立国際美術館など。2001年横浜トリエンナーレ、2002年サンパウロ ビエンナーレ、2006年シドニー ビエンナーレ、2007年ヴェネチア ビエンナーレ(イタリア館)など大型国際展への参加多数。本年6月1日より11月27日まで開かれているヴェネチア ビエンナーレでは、我が国の代表として日本館で個展を開催している。また随筆や本の装丁、新聞小説の挿絵など、さまざまなジャンルで才能を発揮している。

ハラ ミュージアム アーク展覧会のお知らせ(10/28以降~1/4まで)

現代美術ギャラリー 「ボディ アンド ソウル 原美術館コレクション展」

特別展示室観海庵 「時季(とき)の造形」

休館日: 木曜日(11月3日、12月29日は除く)、1月1日[日]、荒天時、都合により臨時休館する場合があります。

【取材のお問い合わせ・資料のご請求先】 ハラ ミュージアム アーク 広報 品川

〒377-0027 群馬県渋川市金井 2855-1 Tel: 0279-24-6585 Fax: 0279-24-0449 e-mail: press@haramuseum.or.jp

* スケジュール・内容を変更する場合がございます。当館へご確認いただきますようお願いいたします